

# 英訳問題を F G O に繋 げてみた

アキレウス来てくれ…！

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

タイトル通りの話です。英訳の宿題を見ていたら思い付いたので初投稿。

ちなみに真面目な方の答えは下に載せているのでFGOと一緒に英語が勉強できるかもしれない仕様となっています。無理矢理FGOに繋げているのでおかしい所があるのはご了承ください……

お気に入り登録、感想などお待ちしております。アドバイスなども受け付けていますが、心は硝子なのでお手柔らかに。

# 目次

ら	番外編	その4	その3	その2	その1
68	もしもマーリンがはっちやけた	42	24	10	1



## その1

次の問題を英訳しなさい

1 今年は去年よりずっと暖かいようです。

マーリン「それはそうだろうとも。なにせ現在絶賛人理焼却中だからね！」(2016年)

2 有益でさえあればどんな書物でも良い。

アンデルセン「そんなわけないだろうが馬鹿め！有益でも面白く無ければつまらんだろうが!!……それはそれとして、マスター。明日が締め切り日なんだ、ネタをくれ、ネタを！」

3 私の学校には君の学校カルデアの5倍の生徒サーヴァントがいる。

リヨぐだ子「課金！からのガチャアアア!!溶ける、溶けちやううう」

マシユ「先輩……。もう、手遅れなのですね……」

ダヴィンチ「すごく今更だね？」

4 私はロンドンに初めて来ましたbyパラケルスス

ジャック「あなたがわたしたちのおかあさん？」

パラケルスス「違いますよ、私は歴とした男です」

その後、ムキムキになる薬を開発することに熱中するパラケルススがいたとか何とか。

5 最近物価気温が上がりました。

オジマンディアス「余が太陽である以上仕方あるまい！諦めよ、フハハハハ!!」

6 「君はどこへ行っていたのだ」

ー「郵便局へ行って来たのです」

エミヤオルタ「貴様どこへ行っていた」

キアラ「ラブホへ行って来たのです（ハアハア）」

7 私は佐藤君を見送りに駅まで行ってきた所です

清姫「旦那様……どうか、ご無事で。私はここで見守っております！ええ、それこそ

いつまでも」

ロマニ「ちよつと！精密機械がある所に入らないで欲しいんだけど!?君よく炎出す  
じゃないか！危ないよ!!」

8 疲れているのならすぐに床に入ってもいいよ。

頼光「では母が子守唄など歌いましょう」

静謐「で、では私はマスターの抱き枕に……!」

マスターの部屋で女としての矜持を賭けた負けられない戦いが始まった。

9 彼に会ったとき、彼は「成功を祈りますよ」と言った。

ダビデ「じゃあ祈るついでにボクに投資してみないかい？ーボクはやるよ、かなりやる」

10 君は急がねばならない、さもないと学校に遅れるだろう。

アキレウス「急がなくても別に本気で走れば良いだけの話だろうが」

アタランテ「汝の言う通りだな」

ケイローン「それが出来るのは貴方達位です」

11彼にすぐ来てもらわなければならぬ。

狂スロ「Ar r r t h u r r r !!」

マーリン「アーサーの方かい？それとも胸が無さすぎて男にしか見えないアルトリアの方かい？」

この後マーリンはめちやくちやエクスカリバーされた。

12あなたには熱があります。体温を測ってみましょう。

ナイチンゲール「殺菌！消毒！！安心して下さい、貴方を殺してでも救います」

ロマニ「いや、熱出しただけだから！」

ジャック「解体？解体するの？（ワクワク）」

サンソン「しませんよ。なのでそのナイフを収めて下さい。婦長も拳銃を収めて下さい」

13勉強が終わったので、山の桜を見に行った。



エミヤ「腕の振るい甲斐があるというものだな」

槍ニキ「やつはお前弓兵じゃなくて執事のサーヴァントじゃねエの？」

エミヤ「おっと心は硝子だぞ……」

14「晩中雨だったので、道がぬかるんでいる。

バスターゴリラ「私の転輪エクスカリバーガラティーンの剣で乾かしましょうか？多分この辺全部更地になりま  
すが」

ぐだ男「止めてあげて!？」

15家が揺れるのを感じて、表に飛び出した。

「そこには、筋肉マッスルがいた。「圧ッ政ツツ!」

ヘラクレスもいた。「???」↑体重200キロ超え

ペンテシレイアもいた。「アキレウスウウ!!」

ヘクトールが困っていた。「……え？オジサンにどうにかしろって？ムリムリ、特攻刺さるから」↑ギリシャ神話男性特攻の対象

おまけ 上の問題本来の解答

1 今年は去年よりずっと暖かいようです。

I t s e e m s t h a t t h i s y e a r i s w a r m e r t h a n l a s t y e a r .

2 有益でさえあればどんな書物でも良い。

A s l o n g a s i t i s u s e f u l , a n y b o o k s w i l l d o .

3 私の学校には君の学校の5倍の生徒がいる。

M y s c h o o l h a s f i v e t i m e s m o r e s t u d e n t s t h a n y o u r s c h o o l .

4 私はロンドンに初めて来ました。

I c o m e t o L o n d o n f o r t h e f i r s t t i m e .

5 最近物価が上がりました。

P r i c e s h a v e g o n e u p t h e s e d a y s .

6 「君はどこへ行っていたのだ」

——「郵便局へ行つて来たのです。」

Where did you go?

——I went to the post office.

7 私は佐藤君を見送りに駅まで行つてきた所です。

I have been to the station in order to see Mr. Sato off.

8 疲れているのならすぐに床に入つてもいいよ。

If you are tired, I allow you to go to bed now.

9 彼に会つたとき、彼は「成功を祈りますよ」と言った。

When I met him, he said "May you succeed!"

10 君は急がねばならない、さもないと学校に遅れるだろう。  
You have to hurry up, or you will be late for school.

11 彼にすぐ来てもらわなければならぬ。  
I have to have him come immediately.

12 あなたには熱があります。体温を測ってみましょう。

You have a fever. Let's take a temperature.

13 勉強が終わったので、山の桜を見に行った。

I went to watch cherry blossoms in the  
mountain because I had finished studying.  
y i n g .

14 一晩中雨だったので、道がぬかるんでいる。

Since it was raining, street was wet.

15 家が揺れるのを感じて、表に飛び出した。

Since I felt house shaking, so I run out of the house.

## その2

次の問題を英訳しなさい。

1 一般的にインド人は右手で食べ物を食べる。

ぐだ男「左利きの人はどうするの？何かおまじないとかそういうの？」

アルジュナ「そういった理由では無く」

アマデウス「インドの人はトイレで拭く時に左手を使うから左手は不浄なモノとして扱うんだよね！」

ぐだ男「アマデウスがイキイキしだした!？」

アマデウス「だってボクそ<sub>下</sub>う<sub>ネ</sub>の好<sub>タ</sub>きだし？マリーの手前、封印してはいるけどマスタ<sub>ー</sub>に説明するためだから仕方無いよね、うん」

ぐだ男「コイツ、絶対確信犯だ…！」

アマデウス「というわけでインドのお二人さん。ボクと友好の証として『へいよーか  
るでらつくす』してくれないかな？」↑然り気無く左手を出している

カルナ「貴様の思惑など見え透いているが良いだろう。……む。アルジュナよ、何故

止める」

アルジュナ「他意がある人に左手でするわけ無いでしょう！カルナも軽率に施そうとするな！」

2 デイルムツド 主君 彼は旧友の頼みを断ることが出来なかった。

魔猪「ブヒヒン」

▼カルデアに野生の魔猪があらわれた！

フィン「デイルムツド、ちよつとアレ倒してきてくれないか？ー私の騎士団の一番槍であるお前にしか頼めないんだ」

デイルムツド「……っ！かしこまりました我が君！このフィオナ騎士団が一番槍デイルムツド、必ずその期待に応えてみせます!!ー来るがいい魔猪！死因である以上相性は最悪だが。何とかこう、何とかしてみせる!!」↑幸運E

フィン「本当に逝つて…コホン、行ってしまうとは。デイルムツドは具体策が無いまま頑張ってしまう子だね」

孔明「鬼畜か貴様は」

この後魔猪は獣殺しスキルを持つプロトニキによって狩られ、みんなで美味しく頂きました。

デイルムツド?……彼は尊い犠牲になったよ。

3 ギルガメッシュその作家はたびたび他の作家王の作品ことを見下す。

弓ギル「天地天上天下、真の王は我オレ一人よ!他の王などとほざく雑種など有象無象に過ぎん」

術ギル「たまには年若い我オレも良いことを言うではないか見直したぞ。…爪の先程だがな」

子ギル「ちよつと、他の方達に失礼ですよ?……まあ、事実ですから否定はしませんけど」

ぐだ男(否定しないんだ!?!……というかオジマンディアスあたりの王様系サーヴァントに聞かれたらマズイよね、これ)

4 マスターその子どもたちは祖母推しに会うのを楽しみに待っている。

ぐだ男「石の貯蔵は十分か?(キリッ)」

エミヤ「私のセリフを改変するな!」

5 ごめんね、でも君の気持ちも傷つけるつもりではなかったんだ。



マシユ「男の人が二股してたのがバレた時に大体そういう事言いますよね。お父さんとか。最低です」

剣スロ「ぐはっ……！」

トリスタン「大丈夫ですかランスロット卿!？」

言葉の棘がクリティカルヒットした為。円卓最強と謳われ、理想の騎士（笑）として讃えられしランスロット・デュ・ラック此処に倒れ伏す。

6 確かに彼女はきれいだが、私は好きではない。

ダビデ「確かに彼女は胸も大きいスタイルもボク好みだよ？でも、ボクより身長が大きい女の子はちよつと……」

メデューサ「……アナタ今私を大きいと言いましたね。死にたいのですか？ー私を大きいと言って良いのは姉様達だけです！」

その後ダビデがどうなったのか知る者はいない。

7 今までは全てのこと犯罪がうまくいった。

新茶「ーホームズとかいういけすかない探偵ヤツが来るまではネ！例えば、そう……」  
ホームズ「君の百害あつて一利すら無いような昔話は止めたまえ」

新茶「ちよつといくらなんでもひどすぎないかい!? 私、まだ何も話していないのだけ  
ど! ……いくら私がアラファイフ紳士だとしても怒ることはあるんだヨ? ……  
ザ・ダイナミクス・オブ・ア  
『終局的犯ぎ』」

ホームズ「バリツ」

新茶「アウチ!」

ホームズ「君がそんなにもライヘンバッツハしたがつていとは思わなかつたよ」

新茶「流石にそれは勘弁願いたいものだネ…」

ライヘンバッツハする⇨動詞。相手を下敷きにしながら滝を下ること。もちろんテス  
トには出ない。

8 私たちは外で何かが発発するのを聞いた。

ステラ: アーラシユ「流星<sup>スステラ</sup>一条<sup>アラ</sup>アアーツ!!」

頼光「あの方槍の種火の日以外毎日爆発していますが大丈夫なのでしょうか……」

孔明「NPを配る係としては自爆の手助けをしているようで心が痛い」

エルキドゥ「大丈夫だね、わかるとも!」

エレシユキガル「どう見ても全然大丈夫じゃないのかわ!?」

弓ギル「我が<sup>エルキドゥ</sup>朋友よ。流石にもう少し空気を読んだ方が良くないと思うぞ?」

エミヤ（あの傍若無人な英雄王が空気を讀むだど!? 明日は雪、いや槍が降るとい  
か!?!」

術ニキ「いや降らねエだろ。後お前途中から思っていることが口に出てんぞ」

オジマンディアス「勇者よ…余に何か出来ることは無いものか」↑NP配布と攻撃力  
上昇なら出来る

9 <sup>黒</sup>ジユディーは自分の言葉に誠実である。

黒ひげ「拙者としてはロリ鯖達をクンカクンカするのも悪くないでござるが……やは  
りエウリユアレたんあたりをPrPrしてみたいのでござるよ…！デユフフフww」

メアリー「ねえ、アン。世の中の女性の為にもこいつ消した方が良いと思うのだけど」  
アン「そうですね。子供達の教育上良くありませんし」

その後、カルデアで発砲音が響き渡ったり刃物が何かを切り裂く音がしたりしたが失  
踪したのが黒ひげだったのでいつもの事だろうと気に止める者はいなかった。ただ念  
のためということでカルデアで防犯ブザーの配布が行われた。

10 <sup>マーリン</sup>彼は自転車<sup>徒歩</sup>で世界中<sup>第七特異点</sup>を旅する<sup>に来る</sup>という大胆な計画<sup>行動</sup>を持<sup>実行</sup>っている。  
<sup>パビロニア</sup>カルデア  
第七特異点 ウルクの冥界にて

マーリン「理想郷アヴァロンから歩いて来たのさ！何、少しばかり遠かったが気合いがあれば大  
体のは何とかなるものだよ？第一、私はバッドエンドなんて嫌いだからね！」

フオウ「ドフオウ!？」

賢王改め英雄王「ようやく来たか。遅いわ戯け」

ティアマト「A a a a a」

ぐだ男「王様が服を脱いで鎧を着たらクラスチェンジした件について」

エレシユキガル「あれはうるさい方のギルガメツシユ？それとも落ち着いた方のギル  
ガメツシユなのかしら…紛らわしくてどっちか分からないのかわ!!」

1-1 私たちは彼マーリン&孔明 サポートらの援助を当然のことと思うべきではない

マーリン「まあ、ライダークラスに殴られたら普通に死ぬからね。加えて相手が無敵  
貫通持ちだと幻術を使ってもダメージが入るし」

孔明「後は私達がバフ要員である以上強化解除や強化無効を持つ相手とも相性が悪  
い」

ぐだ男「それでも連れていくけどね」

孔明「勘弁してくれ……」

マーリン「私そろそろ過労死するんじゃないかな…」

フオウ「フオウフオウ（訳：マーリンだし別に良くない？）」「  
 マーリン「キヤスパリーグ、それは一体どういう意味なんだい?!」  
 マーリンと孔明は過労死しそうなサーヴァントのツートップ（多分）  
 術ギル?……あの御方は過労死したサーヴァントですし……

12その王女女神はいつも自分の美しさを自慢していた

イシユタル「だって私美の女神だし。美しさを讃えられるのは当然のコトでしょ?」

エルキドウ「ねえ、ギル。何かアレに投げつけるモノ持っていないかい?」

弓ギル「あの駄女神も懲りんな……。悪いが我オレにはアレに投げつけても良いような財  
 の持ち合わせなど無いのでな」

エルキドウ「じゃあ……処しても良いかな?」

弓ギル「許す。ー人類の為なのだ、雑種も笑って済ますであろうよ」

イシユタル「ちよつと、何勝手に「人と共に歩もう、ボクは。故にー  
 『人エよ、神マを繋エぎとめよう』』ギャーッ!!」

弓ギル「フン……駄女神らしく品性の欠片も無い叫び声よな」

イシユタル「ーッッ!!」↑スタン

13 その歌手が<sup>ネロとエリザベート</sup>この町でコンサートを開くという噂がある。

「噂を聞いた者の内その二人の歌声を知っている者で震え上がらない者はいなかった。サーヴァントがいかにも勇猛な戦士ぞろいといえども音響兵器に耐性があるとは限らないのだ。たとえ耐性が有ったとしてもそれをブチ抜いてくるような歌声（爆）だ。というかあの歌声と言うことさえ憚られる声を聞き続けることが出来る猛者など同類の者以外にこの世にいるのだろうか？

以下、一部の方の声です。

槍ニキ「え?! いやいや、いくらオレに戦闘続行スキルがあるとはいってもアレを聞くのは普通に無理だわ!」

ロビン「あんな音響兵器<sup>人殺し</sup>と同じコンサート<sup>場所</sup>会場に居られるか! オレは部屋に帰らせてもらいますよっと。……え? マネージャーの仕事? 勘弁して下さいよ……耳栓買ってくるか」

ロムルス「ローマ……」よく見ると神祖は冷や汗を流していた。

ヴラド「余は衣装作りを頼まれて一週間徹夜だ……」

サリエリ「一体どんな音楽を聴くことが出来るのだろうか……! (ワクワク)」

この後彼は発狂して怒りの日<sup>デイエスレイ</sup>を弾きまくることになる。もしかしたら彼は復讐者<sup>アケエンジャー</sup>から狂戦士<sup>バーサカー</sup>にクラスチェンジするのかもしれない。

アンリマユ「最弱と名高いオレがあんなの聞いて無事でいられるわけ無いでしょーが。しかもオレの『偽り写し記す万象』で相手に返しても意味無さそうだしな……」

当日、急に用事が出来たと言いつつ始めたり腹痛や頭痛、中には腰痛を訴え始めるサーヴァントが続出した為、観客はカリギュラと黒ひげ、何も知らないサリエリ、そしてマネージャー役をしていたロビン（耳栓装備）のみとなった。

14その芸術家は魂を込めて恋人の絵を描いた

ハグ……ケイネス「ど、どうかなソラウ。君の美しさを少しでも表現出来ていると良いのだが……」

ソラウ「ええ……。まあ、悪くはないと思うわ（いくら何でも等身大パネルは無いわよ）。ランサー、貴方はどう思う？」ソラウはケイネスの愛情表現の重さにドン引きしていた。

デイルムツド「（何故そこで俺に振る!?）……その、奥方の美しさが表現されとても良いのではないかと思われませう」

ソラウ「キャーッ！ランサーが私のことを美しいって言ってくれた……！」

ケイネス「ランサー！別に私は貴様に批評しろなどと一言でも命じた覚えは無いぞ

!!」

デイルムツド「……（俺は一体どうすれば良かったのだろうか……）」

上の問題本来の解答

1 一般的にインド人は右手で食べ物を食べる。

In general, Indian people eat food with  
right hands.

2 彼は旧友の頼みを断ることが出来なかった。

He couldn't turn down his old friend,  
S request.

3 その作家はたびたび他の作家の作品を見下す。

The writer often looks down on other  
writers' works.



4 その子どもたちは祖母に会うのを楽しみに待っている。

The children are looking forward to seeing their grandmother.

5 ごめんね、でも君の気持ちを傷つけるつもりではなかったんだ。

I'm sorry, but I didn't mean to hurt you feelings.

6 確かに彼女はきれいだが、私は好きではない。

She is beautiful, to be sure, but I don't like her.

7 今までは全てのことがかうまくいった。

Up to now, everything has been all right.

8 私たちは外で何かが爆発するのを聞いた。

We heard something go off outside.

9 ジュディーは自分の言葉に誠実である。

Judy is sincere in her words.

10 彼は自転車で世界中を旅するという大胆な計画を持っている。

He has a bold plan to travel around the world by bike.

11 私たちは彼らの援助を当然のこととすべきではない。

We should not take their help for granted.

12 その王女はいつも自分の美しさを自慢していた。

The princess always boasted of her beauty.

13 その歌手がこの町でコンサートを開くという噂がある。

There is a rumor that the singer will  
give a concert in this town.

14 その芸術家は魂を込めて恋人の絵を描いた。

The artist painted a picture of his  
lover with all his soul.

## その3

次の問題を英訳しなさい

1 オペラ座の怪人音楽の先生は美しい声のことで私を賞賛した。

オペラ「ああ……クリステイーヌ、クリステイーヌ！やはり君こそが世界一の歌姫に  
相応しい……！」

ぐだ男「ええ……俺鼻歌歌ってただけなんだけど……。後、俺男だから歌姫というのはお  
かしくない？」

オペラ「君こそが世界一の歌手に相応しい……！」  
ぐだ男「わさわざ言い直した!?!」

2 モリアーティ私は人生で一度も犯罪を犯したことがない

ホームズ「ほう……君もついにボケたのかね？」

新茶「違うヨ!?!ーだって私は完全犯罪をしていたからネ！すぐにバレるような犯罪  
なんて犯したことすら無いヨ」

ホームズ「警察にはともかく、私にはバレていたじやないか。ふむ……やはりもう一度ライエンバッハした方が良いのかもしれないな」

新茶「はいはい！そうです私が『犯罪界のナポレオン』ことジエームズ・モリアーティです!!ホラ、認めたからライエンバッハるのは止めてヨ!?ただでさえ戦闘の度に棺桶振り回して腰にキテるといふのに」

ホームズ「つまらないな。折角私のバリツが唸りを上げる所だったというのに」

新茶「探偵がその発言をするのはどうかと思うがネ……」

3 子ギル フレットは若くて金持ちだ。そのうえ、みんなに優しい。

子ギル「そう言ってくれるのは有り難いのですが、ボクにも嫌いな相手はいますよ?」

ぐだ男「え?!いることにビックリだよ……誰?」

子ギル「ほら、金ピカのあの人はよ」

ぐだ男「まさかの未来の自分だった!?大人の方は自分大好きなのに」

子ギル「本当に何でああなってしまったのやら……理解出来ませんね。する気も無いのですが」

槍ニキ「……お前、本当にあのギルガメッシュか?」

エミヤ「私はてつきり幼少期からあの性格なのかと思っていたのだが」

子ギル「失礼な。ボクは真正銘ギルガメツシユですよ？後、この時期からあんな性格していたらボクは『賢王』と呼ばれることなど無かつただろうと思います」

ぐだ男「キャスターの方はどう？弓の方とは多少性格違うけど」

子ギル「そちらの方が多少はマシですね」

エミヤ「ちなみに弓の方と会ってしまったらどうするんだ？」

子ギル「ハハハ、もちろん全力での殺し合いをするに決まっていますじゃないですか」

ぐだ男（怖ッ!?さすがカリスマA+）↑この場合おそらくカリスマは関係無い

エミヤ（未来の自分と殺し合いか……何だか既視感があるのだが、気のせいかな？）

4 彼女はアフリカの野性動物（頼光 我が子と見なした者）に対して深い愛情を抱いていた。

頼光「ええ、母として我が子を愛するのは至極当然のことです。何よりも愛しくてたまりません」

酒吞「小僧もマスターはんも困つとるで？全く、愛しているとか言いながらそんなコトも分からへんとはなあ……これだから牛女は」

頼光「あらあらまあ……虫けら風情が何か言っているようですね」

酒吞「あんま調子乗ってはると痛い目見るで？」

頼光「それはそちらの方では？」

この後二人の戦いでシミュレーションルームが大破した為ロマニの胃痛が悪化した

5 英<sup>グレイタイア</sup>仏<sup>殿ろう</sup>間<sup>マスター</sup>を泳<sup>マスター</sup>ごうとした人もいる。

リヨぐだ子「さあ出てこい素材柱共の親玉！ボス戦だし素材柱の10倍位は素材を泥してくれるんでしょ？ハリーハリー」

マシユ「先輩、素材柱ではなく魔神柱です」

リヨぐだ子「ヒヤッハー！」

マシユ「聞いてすらいませぬ……」

ロマニ『立香君の方が悪役っぽくない？何か不良のカツアゲを見ている気分だよ』

ダヴィンチ『思っても言ってもはいけない事もあるんだよロマニ』

素材<sup>犠牲</sup>……魔神柱の貢献<sup>犠牲</sup>（素材）は忘れない……！特にバルバトス君とか。

6 トーマス・アルバ・エジソンは1879年に白熱電球を発明した。

エジソン「つまり私の直流が勝っていたということだな！私が電球を作らなければその後の蛍光灯やらLED電球やらも出来なかったのだから！」

テスラ「凡骨が何を言い出すのかと黙って見ていればふざけたことを。交流が上に決まっている！現在広く使われているのは交流だろうが!!貴様の電球も今や交流で灯りを灯すのだぞ？」

エジソン「黙ってるこのミスターすつとんきようが！直流が先なのだから直流が上だ！それと、直流は電池とかメッキとか電車に使われているからな？現在進行形で！」

テスラ「そっちこそその喧しい口を閉じろライオン頭。貴様には獅子などではなくネコかチワワあたりを頭ににした方がお似合いだろうよ！」

エジソン「交流バカにはこのイカしている獅子頭が分からんようだな。何て哀れな。……というか頭がネコとかチワワだったら威厳が出ないだろうが！人は見た目だけじゃないと言うが、見た目も大事なんだぞ！！バーカバーカ。交流バーカ」

テスラ「何が交流バカだ。貴様が直流バカなだけだろうが。そもそもバカって先にいった方がバカなんだぞ。貴様は知らないようだがなあ？」

エジソン「何イ？」

テスラ「やるか？ー」『システム・ケラウ  
人類神話・雷電』

エレナ「二人とも止めなさい！カルデアで宝具展開するんじゃないわよ！！」

7その<sup>ロ</sup>医者<sup>マ</sup>は<sup>ニ</sup>何とか<sup>武藏ちゃん</sup>彼女の<sup>鼻血</sup>失血を止めた

ロマニ「ふう。やっと彼女の鼻血が止まったよ……それにしても何でこんなに出血したんだい？やけに幸せそうな顔しているし、好きなアイドルで最推しの子のお宝映像でも手に入ったのかな？」

マシユ「勝手にドクターと同類にしないで下さい」



ロマニ「ボクに辛辣過ぎない!？」

ぐだ男「世間はドルオタに厳しいものだよねー。まあ、武蔵ちゃんが鼻血出したのは子ギルとアレクに会ったからだね」

マシユ「あのお二方は魅惑の美少年スキルをお持ちですから」

ロマニ「そうだとしてもセイバークラスは対魔力を持つてるハズだし魅了されることは無いと思う……ってただのシヨタコンじゃないか!?大丈夫なのカルデア!？」

ぐだ男「キヤスターの方のジルに比べれば全然大丈夫だよ。興奮する位で実害は……多分無いし」

ロマニ「今の間は何!? 本当に無害なら別に良いかもしれないけど……」

マシユ「先輩、何だか比較対象に大分問題がある気がします」

その後武蔵ちゃんは無害ということが無罪になった。ちなみにロリコンとシヨタコンを拗らせた術ジルは有罪となりマナプリにされた。まだテンション低い時代の剣ジルは明日は我が身かと震え上がっていた。

8 カルデア 地表の温度が年々<sup>段々</sup>上昇している。

ぐだ男「何か最近カルデアの中暑くない?」

ロマニ「多分太陽関係のサーヴァントが続々召喚されているからじゃないかな」

ぐだ男「そんなにいたっけ？」

マシユ「まず最初にオジマンディアス王、その後に玉藻さん、サー・ガウエイン、カルナさんが召喚に応じています。確かに全員何らかの形で太陽に関係していますね」

ぐだ男「もしかして今は太陽関係サーヴァントピックアップ期間なのか!？」

ダヴィンチ「初めて聞いたよそのピックアップ」

槍ニキ（一応オレも太陽に関係あるんだが…）

不要とは思いますが一応解説的な。

オジマンディアスはエジプトの太陽神ラーの息子にして化身。玉藻は天照大神から分かれたれた御魂の一つ。カルナはインドの太陽神スーリヤの息子。クー・フリーンはケルト神話の太陽神ルグ（またはルー）の息子。ガウエインは負債回収剣転輪する勝利の剣の担い手で『太陽の騎士』と呼ばれる。日射しが出ている間は能力が3倍。（おそろく）マシユポテトも3倍増し。

∴長々と失礼しました。

9あまり勉強働すると病気過になります。

ぐだ男「昨日も徹夜で周回したから眠いなあ…でも1年に数回しかないBOXガチャだし出来る限り周回しないと…!」

術ギル「何をしている雑種。疾く休まぬか！少し休もうと微睡み気が付けば過労死して冥界に来ていた、などということになってからでは遅いのだぞ！」

ぐだ男「すぐく具体的…あれ、何かこういうことあった気がする」

術ギル「それはそうだろう。——我の体験談故な！大抵の苦行、試練は乗り越えるが過労死だけは二度と御免だ！」

ぐだ男「そういえば第七特異点バビロニアでしてましたね。懐かしい気がする……」

術ギル「本ツ当に過労死だけは二度と御免だ!!」

ぐだ男「何で二回同じこと言っただんですか？」

術ギル「大事な事である故言つてやったまでだ」

10 「おかわりいかが？」

——「いいえ、もう結構です」

ブーデイカ「もつと食べても良いんだよ？」

ぐだ男「本当にお腹いっぱい……」

ブーデイカ「そつか……張り切つて作り過ぎちゃったみたいだね」

青王「——問題ありません。私が全て食べましょう。どうか食べさせて下さい」

マーリン「アルトリア……すぐく言いにくいんだけど、英霊は成長しないからそんなに

食べても胸は大きくならん」

青王「束ねるは星の息吹。ー受けるが良い！約束エクスされた勝利カスの剣リバー!!」

その後カルデアのエンゲル係数を上げすぎたアルトリア全員に食事制限が課せられることとなる。マリーンはランサークラスを除くアルトリア全員に折檻されていた。

11私は夕方5時半までロクインしているからその時までマリーに会いに来てほしい

ぐだ男「サポートに一番使われたのはキャスターかあ。やっぱオールスキルママーリンに凸ランチャタイムか凸イベ礼装つけとくとフレポの稼ぎ具合が半端無いよね」

マリーン「マイロード、私もキツくなってきたからそろそろサポート欄のキャスター枠を孔明君と代えてくれないかい？この頻度で使われ続けたら過労死するんじゃないかな……」

フォウ「フォウフォウ、キュー！（訳：夢魔が過労死するワケ無いよね。しかもロクデナシだし）」

マリーン「キャスパリーグ、お前……いくら私が夢魔のハーフで夢魔寄りの存在だとしても精神的には疲れるんだよ!!後、ロクデナシなのは認めるけど今はそれ関係無いだろう!!」

ぐだ男「それだけ元気なら大丈夫そうだね。というわけでその提案は却下。それと孔

明先生ならオール枠で頑張ってるよ？ほら」

孔明「……（死んだ魚の目）」

▼返事が無い ただの屍のようだ

フオウ「フオウ……（訳：これにはさすがのボクも引くわ……）」

マーリン「よーし！私もキャスター枠で頑張るぞー！！（目そらし）」

12返してくれさえすればそれを持って行ってよい

ぐだ男「返してよ？絶対に返してよ？絶対だからな!？」

メフィスト「それは前フリというヤツですかマスター？イヒヒヒヒ」

ぐだ男「違うわ！あ、いざとなったら令呪を使うことも辞さないから」

メフィスト「何とオ!?!あれだけ前フリとしか思えない台詞を言っておいて前フリではないとおっしゃるなんて！マスターは悪魔なのですかあ!?!」

ぐだ男「悪魔はお前だろ……悪魔ならちゃんと約束守ってよ?」

メフィスト「これは手痛いご指摘。安心して下さい、この悪魔メフィストフェレス、契約はぜえつたい守りますとも！悪魔のプライドに賭けましても!!」

ぐだ男（何で台詞がマトモでも胡散臭く聞こえるんだろ……）

ぐだ男がメフィストフェレスに何を貸したかはご想像にお任せします。もしかした

ら健全な男子諸君であれば誰もが読んでいるであろうジャンルの本かもしれない。

水着頼光「何とハレンチな！ご禁制です!!」

13 お客様皆様にお知らせ致します。機長マスターの女性トラブルのため786便本日のレイシフトボン行きは出

発が遅れます

マシユ『ー以上、マシユ・キリエライトからのお知らせでした』

燕青「ヒュウ！モテる男は大変だねエ」

サンタリリイ「皆さんをお待たせするなんて！もお、マスターさんは何をしていますか!!」

アルジュナ「理由なら先程の放送で言っていたと思うのですが……」

酒吞「本当は小僧もマスターはんが羨ましいんやろ？顔赤くなつとるで。ーなんなら、ウチと今夜良いコトしよか？」

金時「羨ましくなんて無エよ!?!それと、別にそういうコトはしないからな!!」

フェルグス「やはり若いモンはそうで無ければな！俺も混ざりたいものだ!……どうだメイヴ。今夜俺とやらないか？」

メイヴ「嫌よ。やるならクーちゃんが良いし。それに貴方とやると疲れるもの」

フェルグスは7人の女を抱かないと眠ることが出来なかったという逸話が残ってい

たりする。さすがケルト。

ー「マスターの部屋では。」

ぐだ男「zzz……」

頼光「起こすのは可哀想ですがもうレイシフトの時間ですし起こさなくては」

静謐「わざわざ貴方の手を煩わせる必要は無いですよ？私がマスターを起こすので。」

ここはやはり私のキスで……」

清姫「いいえ、且ますたあ那樣を起こすのは正妻たる私の役目。なので私が口づけをするべきかと」

玉藻「なあーにが正妻ですか。清姫さん、あなた何ふざけた事を言ってやがるんです？ここは良妻たるこの私が圧倒的なキステクで年季の違いを見せつけてやりますとも！」

「「ぐぬぬぬ……」」

キャットファイト勃発5秒前の様相を呈していた。逃げて。マスター超逃げて。

14 「最近召喚されたアキレウス  
人事課の新人どう？」

ー「実は動バトルモーションきが早すぎて肉眼では捉えられなくてね」

ケイローン「それは由々しき事態ですね」

ぐだ男「俺も頑張つて動きを捉えようとしているんだけど、やっぱり難しくくて」

ケイローン「成る程。では、丁度良いことに彼も近付いて来るようですし……フッ！」

アキレウス「先生ー！マスター……ぐふっ!!」

ぐだ男「!？」

ケイローン「ほら、この様にすれば動きが止まりますよ。マスターにもパンクラチオンをお教えしましょうか？」

ぐだ男「考えておきます……」

アキレウス「いきなり何なんだ!?先生、オレ何か悪い事しました?身に覚えが無いんだが……」

ケイローン「いえ、別にお仕置きというわけではありませんよ?マスターが貴方の動きが早すぎて捉えられないというので動きの止め方を実演してみただけです」

アキレウス「動きを止める為に毎回こんな事されたらオレの身が持たねエよ……いまだに痛エシ。というかマスターは一応一般人なんだよな?ならオレの動きが捉えられないのは当たり前だろ。」

ぐだ男「それはそうなんだけど……でも、俺は戦うアキレウスの勇姿を見ていたんだ。それに、指示を出来る限りの確に出さなきゃいけないからね」



アキレウス「オーツ!？」

ぐだ男「どうしたの? 何か顔が赤いけど大丈夫?」

アキレウス「なっ、何でも無エよ! (真顔であんなコト言うか普通!?) 言われたオレが  
恥ずかしいわ!!)」

ケイローン(マスターの英霊とのコミュニケーション能力はとても一般人とは思えま  
せんがね……。)

藤丸 立香のコミュ力はおそらくEXランク 評価規格外

余談ですが、アキレウスの体は神性を持つ者、もしくは神造兵装などでないと傷つけ  
ることすら叶わないのでぐだ男がパンクラチオンを習得しても動きは止められなさそ  
うです(ただし踵は除く)

上の問題本来の解答

1 音楽の先生は美しい声のことで私を賞賛した。

The music teacher praised me for my beautiful voice.

2 私は人生で一度も犯罪を犯したことがない。

I have never committed a crime in my life.

3 フレッドは若くて金持ちだ。そのうえ、みんなに優しい。

Fred is young and rich. Moreover, he is kind to everyone.

4 彼女はアフリカの野性動物に対して深い愛情を抱いていた。

She had a deep affection for wild animals in Africa.

5 英仏間を泳ごうとした人もいる。

Some people attempted to swim between England and France.

6 トーマス・アルバ・エジソンは1879年に白熱電球を発明した。

Thomas Alva Edison invented the incandescent lamp in 1879.

7 その医者は何とか彼女の失血を止めた。

The doctor managed to stop her loss of blood.

8 地表の温度が年々上昇している。

The temperature of the surface of the earth has risen year by year.

9 あまり勉強すると病気になります。

If you study too hard, you would be sick.

10 「おかわりいかが？」

——「いいえ、もう結構です」

Would you like another helping?  
— No, thank you.

11 私の夕方5時半までここにいるから、その時までには会いに来てほしい。

I will stay here until five thirty in  
the evening, so I want you come to see  
me by then.

12 返してくれさえすればそれを持って行ってよい

As long as you return it to me, I allow  
you to take it.

13 お客様にお知らせ致します。機長の女性トラブルのため786便ボン行きは出発が遅れます

Attention, please. Flight 786 to Bonn has  
been delayed as the captain is having  
a women's issues.

14 「人事課の新人どう？」

——「実は動きが早すぎて肉眼では捉えられなくてね」

How is the new recruit in the person-  
nel section doing?

— Actually, he moves too fast for the  
naked eye to see.

## その4

次の問題を英訳しなさい

1 高熱は風邪の最も一般的な症状の1つである。

ぐだ男「だから寝てれば大丈夫だよ」

ナイチンゲール「確かに風邪の可能性が高いと思われるですが念のため頭部を切開してみましよう」

ぐだ男「ヒエツ!？」

ロマニ「どう見ても普通の風邪なんだけど!？」

ナイチンゲール「ーですが、重大な感染症に罹患している恐れもありますので」

ロマニ「ボクは経過観察してからでも良いと思うんだけど……」

ナイチンゲール「日本には『備えあれば憂い無し』ということわざがあるそうですよ？何より、医者である貴方がそんな消極的な姿勢でどうするのです？だからヘタレなどと呼ばれるのですよ」

ロマニ「どうせボクはハタレなチキン野郎ですよーだ……ぐすつ」

ぐだ男「誰だよ婦長にそんなことわざ教えたの……」

ナイチンゲール「聖杯から得た知識ですが」

ぐだ男「そういうのあつたの!？」

2 彼女は何が正しくて何が間違っているかを判断する能力がある

清姫「なので旦那様が嘘をついたとしても私には分かります」

マシユ「ちなみに嘘をつくとどうなるのですか？」

清姫「勿論焼き殺します」

ぐだ男「もしオレが嘘をついたら？」

清姫「勿論焼き……ハッ！旦那様を焼き殺して私も死ねば永遠に一緒に居られるのでは……？」

ぐだ男「(アニメのヤンデレは良いけどリアルのヤンデレ超怖い!!)そ、そんなことはないと思うけど」

清姫「嘘をついている気配はしませんね……名案だと思いましたのに残念です」

3 彼はそのレストランのコック長になった

エミヤ「ー別に、全ての食材を調理してしまっても構わんのだろう?……ちよつと待て。ランサー、君は何故つまみ食いをしているのかね?野良犬か君は……だから狗と言われるのでは」

槍ニキ「狗つて言うな!良いじゃねエか、少し位。ケチケチすんなよ」

青王「もつきゆもつきゆ……そうですね、シロウ。もきゆ……少し位食べても問題無はずです。もきゆもきゆ」

槍ニキ「お前のはどう見ても少しじゃねエだろ!」

エミヤ「アルトリア、君もか……まあ前もつてこの事態を予測して多目に作っていたから良かったものの。足りなくなったらどうするんだ?一応アルトリアが食べ過ぎた時用の奥の手は準備したが」

槍ニキ「さすがエミヤ<sup>オカン</sup>」

エミヤ「誰がオカんだ!」

槍ニキ「鏡を見てみるよ」

青王「もきゆ……それで奥の手とは何なのですか?もつきゆもつきゆ」

槍ニキ「お前はいつまで食べてんだ……」

エミヤ「マッシュポテト担当のガウエイン卿だ。アルトリアが食べ過ぎた場合、君の食事は3食彼のマッシュポテトにしてもらう。この話をしたところ本人は快く了承し



てくれた」

青王「!?」

ガウエイン「今なら日が出ていますので私のポテトも3倍ですよ!」

剣スロ「貴殿がむやみやたらと作るマッシュポテトはカルデアの備蓄を削っている故、少しは控えた方が良いと思うぞ……」

ガウエイン「何故です!?——我が王よ、出来立て新鮮なマッシュポテトはいかがですか?」

青王「慎んでご遠慮させて頂きます」

アルトリアが食べ過ぎる度に食事を全てガウエイン謹製マッシュポテトにすると通告されるようになってからカルデアのエンジェル係数は凄まじい勢いで下がった。

4 その山々の向こうに平らな土地が広がっているとされる

黒髭「巨乳には夢があつて良いと思うのでござるが……貧乳も捨てがたいですぞ? なにせ、貧乳は希少価値、ステータスと言われている位貴重なモノでござる」

ぐだ男「オレの部屋で一体何の話を始めてんの!？」

フェルグス「マスターは聞いておらんのか? 巨乳が至高か貧乳が至高かを決める重大会議なのだ」

ぐだ男「初耳なんだけど」

黒髭「マスターに議題を聞かれたら止められると思つたので何も言わずに始めただけでござる。どうか許してくださいwww」

ぐだ男「謝る気ある？別に良いけどさ（その議題はオレも気になるし）」

フェルグス「男同士でないとういつた類いの話は出来んからなあ！ちなみに俺は大きい方だな。まあ、良い女であればどちらでも構わんが」

ガウエイン「私も大きい方が良いですね。後出来れば年下が良いです」

ぐだ男「でも確かガウエインはアルトリアの命で老婦人と結婚してなかつた？」

ガウエイン「あの時程私の忠誠心が試されたことは無かつたですね……まあ、呪いを解いた彼女は若い美女だったので良かったです。」

ぐだ男「臣下つて大変だね」

ガウエイン「分かってくれますか、マスター」

ダビデ「臣下も大変だけど王も大変ではあるよ？そつちがどうかは分からないけど。あ、ボクは大きいのも小さいのも好きだよ……まあ、ボクより身長が高くなければね」

トリスタン「私も美しければどちらでも良いですね。人妻であれば尚良いかと」

剣スロ「右に同じく」

ぐだ男「ヒトツマニアその1とその2は黙つてて」

劍スロ「何ですと!？」

トリスタン「私は悲しい……(ポロロン)」

この後参加者が増えて会議が紛糾。未成年に聞かせられない生々しい話になったりした挙げ句何だかんだで酒盛りと化して割と收拾がつかなくなった所に影の風紀委員長がカチコミ……乗り込んで来て取り締まりを始めたので解散となった。

会議の結論はどうなったかって?……「みんなちがってみんないい」ってことで良いんじゃないかな。

5 カドック 汎人類史 彼は祖国を捨て異聞帯アメリカに渡った。

カドック「アナスタシア。僕は君を必ず皇帝ツァーリにしてみせる!」

アナスタシア「ええ、楽しみにしているわ(……)。……もしかして私、遠回しにカドックにプロポーズされてる!?!私を皇帝ツァーリにするってそういう意味よね?そうであれば今の私の返事は了承ということになるのかしら!?!ど、どうしましょう?」

カドック「どうしたんだ?」

アナスタシア「な、何でもないわ!(いきなりプロポーズされて驚かないわけ無いでしょう?何でそんなに平然としているのよ……)」

カドック「本当か?何か顔が赤いけど……風邪でも引いたのか?」

アナスタシア「…馬鹿ね、カドック。サーヴァントが風邪なんて引くわけ無いじゃない（察しなさいよ！一人だけ恥ずかしがっている私が馬鹿みたいじゃない…鈍すぎよ）」

カドック「なら良いんだけど。何かあったら言ってくれよ？」

アナスタシア「…まあ、そんな所も嫌いではないのだけど（ボソツ）」

カドック「何か言ったか？」

この会話を目撃した後雷帝を起こして報告しようとするオプリチニキと二人を見守ろうとするオプリチニキとで内紛が起こったとか何とか（大嘘）

6 隣人の騒音がよくオレの睡眠を邪魔する

ぐだ男「…というわけで、夜間…というか出来れば夜間以外もライブという名の拷も…ゲフンゲフン、歌うのを止めてほしいんだけど」

エリザベート「何ですって!?!子ブタ、一体どういうこと?それ以前にアタシたちのライブを何と言いかけたのかしら?」

ネロ「エリザベートの言う通りだぞ、奏者。我らの歌を聞けば誰でも朝までグツスリ快眠できること間違い無しだ!まあ、聞き惚れてしまい眠ることが出来なくなるやもしれぬが」

ぐだ男「それは快眠ではなく永眠なのでは）二人は睡眠が要らないサーヴァントだから良いかもしれないけど、オレやロマニ、カルデアのスタッフの人達は生身の人間だから睡眠が不可欠なんだけど……」

エリザベート「それで体調を崩したら困るわね……分かったわ！一流のアイドルはファンへの体調まで気遣うもの！さっすがアタシ！」

ネロ「だが歌えないとなると今度は余達が困るな……奏者よ、どうにかならぬのか？」  
ぐだ男「セプテムあたりにレイシフトするとか？でも許可もらえるかな……」

エリザベート「アナタの劇場を展開すれば良いんじゃない？」

ぐだ男「カルデアの魔力が枯渇するからそれはちよつと」

ネロ「第一、いくら才能溢れる余でも宝具である劇場を展開し続けるのは無理だぞ？そなたのチエイト城として永遠には出せないであろう？」

エリザベート「それもそうね……外でやるのは？野外ライブっていうのも悪くは無いんじゃない？」

ぐだ男「二人の音量だと雪崩が起きると思うけど、大丈夫なの？」

エリザベート「雪崩エ!?ちよつと子ブタ、このカルデアは何処に建っているのよ」

ネロ「確かに外の喧騒が聞こえたことが無いな。もしや、人里離れた山奥にあるのか？」

ぐだ男「ここカルデアは南極大陸の雪山に位置しているよ。現代になっても人里どころか基本的に探検隊以外の人間が住むことは無い場所だね」

ネロ「なんと！今の時代になっても未だ斯様な秘境が存在するとは!!」

エリザベート「雪崩はアタシ達の歌で吹き飛ばすとしても野外ライブで観客がいないのはどうかと思うんだけど!」

ネロ「ではあの赤い弓兵に固有結界を展開してもらおうというのはどうであろう」

ぐだ男「あれも宝具だから」

ネロ「おお、そうであった。むう……中々良い案が見つからぬな……」

エリザベート「さすがのアタシもお手上げよ……」

ぐだ男「一応ダヴィンチちゃんに（完全防音の）部屋が無いか聞いてみるよ」

エリザベート「本当に!?やったわ！新曲も出来たことだしリハーサルしなくっちゃ」

ネロ「さすが余が見込んだ奏者だ!」

ぐだ男（聞いてみるだけとか言えない……）

この後運悪くネロとエリザベートに与えられた部屋に近くなってしまったサーヴァントは完全防音仕様にも関わらずもれなく婦長が駆けつけるレベルのダメージを受けた。特にアマデウスとサリエリが重症だったとか（主に精神面）。

シバの女王「実は私、以前あのお二人をアイドルとして売りだそうとしたんですよ。

ただ、私の想像以上に歌声が酷……個性的過ぎまして。二度とあの二人の歌声は聞きたくありませんね……売り出そうなんて考えたのが間違いでした……思えばあのダがつく王が手を出さない時点でおかしいとは感じていたんですよねえ」

7日本には活火山が沢山ある

シエヘラザード「なんて恐ろしい所なのでしようか……死んでしまいます……」

ぐだ男「でもその代わり温泉がいっぱい湧いてるから！それに、健康に良いらしいから寿命も延びると思うよ？」

シエヘラザード「いえ……活火山とはいっ噴火するか分からない爆弾のようなものですから……。温泉に行くのは良いのですが、活火山の近くは遠慮させて頂きたく……」

ぐだ男「残念だなあ……火山が近くに無い温泉って有ったかな？」

シエヘラザード「折角のご好意を……申し訳ありません……この罰は如何様にも」

ぐだ男「そんなに気にしなくて良いよ？これ位のことです罰なんか与えないって。それに、君が嫌がることを強要するつもりは無いし。そうだ、ギルガメツシユの宝物庫になら温泉の宝具が入ってるかも！」

シエヘラザード「英雄王……あの恐ろしい王ですか」

ぐだ男「慣れたら案外気の良い王様なだけだなあ……たまにバク……面白い一面も見

られるし」

シエヘラザード「今の発言が聞かれたら殺されるのでは……う？」

ぐだ男「大丈夫だよ（多分）。じゃあ、温泉に入れそうな宝具が無いか聞いてくるね」  
シエヘラザード「それならば良いのですが。では、いつてらつしやいませ。御無事のお帰りをお待ちしております」

ぐだ男「シエヘラザードは心配性だなあ……。無事に帰ってくるから安心して待つてよ！じゃ、いつてきまーす！」

この後カルデアに温泉とプール双方の設備を備えた「わくわくぎぶーん」がオープンしたとか。ちなみにオーナーは弓ギル・術ギル・子ギルの3人。合同経営のはずなのに何故か術ギルだけが過労死しそうになっていた。

術ギル「シドウリ……シドウリはおらぬか……」

子ギル「ちよつと、シドウリさんはカルデアにはいませんよ？とうとう耄碌してしまいましたか……年はとりたくないものですね」

弓ギル「あれは耄碌ではないであろうが。過労死しかけておるだけだ。……ふむ。仕方あるまい、全く気が進まぬが我も手伝うか。さすがに年老いた我が過労死するのは堪える。……例えば、今まで些か手を抜き過ぎたのやもしれぬな」

子ギル「確かにそうですね。ボク達3人分の仕事を1人で引き受けていましたから。



……ボクもちゃんと仕事するとしますか」

弓ギルと子ギルが仕事を真面目にするようになったので術ギルが再び過労死することとは避けられましたとき。

8 その町は深刻な水不足に苦しんでいる。カルデア 素材

ぐだ男「よーし！今回の水着イベで泥した分の虚影の塵でオルタニキをスキルマにするぞー！！」

オルタニキ「それは良いが……足りるのか？」

ぐだ男「……。……必要数いくつだっけ？」

オルタニキ「48×3で……144個だな」

ぐだ男「後13個足りない……！——塵以外に必要な蛇の宝玉とか伝承結晶なら余ってるのに！！」

オルタニキ「その、なんだ……そう気を落とすな。オレのスキル上げなら今度で良い。フリクエの周回位いつでも付き合ってたやる」

ぐだ男「ありがとうオルタニキ！！」

メイヴ「キヤーツ！不器用ながらもマスターを気遣うクーちゃんステキ！さっすが私のクーちゃん！」

スカサハ「別にセタンタはお主のモノでは無いであろうが」

メイヴ「ゲツ、スカサハ：オバサンは黙ってなさい！」

スカサハ「ほう。お主、今儂の事を何と言った？喧嘩を売っているのなら買ってやるぞー！それら、もう一度言ってみるがいい」

孔明（良い雰囲気が終わると思ったのだが、台無しになってしまったな。……それはそれとして、もし今のマスターに私のスキルマには塵が90個必要だと言ったらどうなるのだろうか）

ー！答えは簡単。狂化する。

イスカンドル「どうした坊主。そんなに眉に皺を寄せて。取れなくなってしまうぞ」

孔明「カルデアの素材が不足している件について頭を悩ませているのです、王よ」

イスカンドル「それは大変だな。余も遠征の際補給には常日頃から細心の注意を払っていたものよ。なにせ、行軍には食料やら何やら入り用であるし、とにかく金がかかるからな！」

素材がキツイ星5鯖の中でも特にキツイ方

カルナ 英雄の証216個

ヴラド 凶骨216個

土方 歳三 魔術髓液216個

たくあんでもスキル上げ出来そう。

エレシユキガル 宵哭きの鉄杭216個

アナスタシア 励振火薬216個

ナポレオン 励振火薬216個……と思いきや。

愚者の鎖216個

※あくまで当社調べです。

育成にはQPも素材もかかりますが……

『愛があれば問題ない！』——ま、そいつもオレが言ったことになってるらしい」

## 9 アンデルセン 童話 彼の小説のほとんどは悲劇に終わる

アンデルセン「ありふれたハッピーエンドばかりではつまらんだろうが！まあ、巷で流行っている俺tueeなどが悪いとは言わん。——だが、展開がマンネリ化したか最後読者に飽きられるのがオチと見たぞ俺は」

シエイクスピア「まあ、そうなつてしまった場合は劇的かつ感動的に終わらせれば良いと思いますぞ？ほら、『All's well that ends well』と言いますし！最もその作者がそのような最後を書けるかどうかという問題がありますが。残念ながら吾輩、観客の皆様が飽きられた経験など無いものでして。その問題に関して

は解決策等は有しておりませんので悪しからず！」

後日、「マツチ売りの少女」を読んだナーサリーが猛抗議しに来た為、ハッピーエンド好きな彼女の対応に辟易するアンデルセンであった。

そして現在。

ナーサリー「アンデルセン、早く次のおはなしが読みたいのだから！」

ジャック「わたしたちも楽しみー」

アンデルセン「諦めろ、生憎俺は遅筆なんだ!!」

10その曲は<sup>宝具</sup>ロックの範疇に属する

水着ノツブ「宝具名も『第六天魔王波旬ノブナガ・T・H・E・ロックンロールく夏盛ルく』じやろ? うむ、紛れも無くロック

じやな!」

沖田さん「え!? それ、ロックだったんですか!? 骸骨といい、楽器(?) といいナゾなんですけど」

水着ノツブ「どこからどう見てもロックじやろ! あ、コイツの名前? ー 『ヘシキ i

11・ハセーベ』じや!」

沖田さん「どこがです!? : : つて『<sup>へしきりはせべ</sup>圧切長谷部』!? それは刀の名前のハズ: : 何故得体の

知れない楽器の名前になってるんですか!」

水着ノツブ「『ヘスキリー・ハセーベ』じゃ！うらやましいじゃろ？」

沖田さん「うらやましくなんてありませんから！確か『圧切長谷部』ってアレですよ、棚に隠れてた茶坊主をノツブが棚ごと押し切ったとかいう」

水着ノツブ「その話なんじゃが……実はワシもまさか棚ごと切れてしまうとは思わなんだ。観内に隠れられてイラツとして棚に八つ当たりしただけなんじゃけど……いやー圧切の切れ味ナメてたわー」

沖田さん「スゴい切れ味ですね……うらやましくないと言えば嘘になりますが、私は愛刀がありますし。ところで、私が水着になつたらどのクラスになると思います？やっぱりここは安定のセイバークラスですかねー」

水着ノツブ「安心せい、どうせお主はオルタが実装したばかりじゃし、今年も水着は実装せんとワシのサイドエフェクトが言うておる！」

沖田さん「今年こそは私の水着が来るに決まっていますー！そしてマスターと海でイチヤイチャして私のオルタに見せつけてやるんですよ！そして「沖田さん大勝利ー！」って悔しがるオルタの前で沖田さん渾身のドヤ顔で言つてやりますとも。というかノツブ貴方何時の間ワールドト○ガー見てたんですか？それ、実力派エリートを自称している方の台詞ですよね」

水着ノツブ「何じゃ沖田も知っておったのか。まあ、数年前にはアニメ化しておった

しの！ただ、実力派エリートという名はワシにこそ相応しいと思うんじやが」

沖田さん「自分で言っちゃうんですか？」

水着ノツブ「だってワシ実力あるじやろ？本能寺でファイヤーされなければ天下取つてたの間違い無くワシじやし。そしてワシは何とあの平家の血を引いておるんじや！正にワシこそが実力派エリートじやな！」

沖田さん「血筋の話は確か捏造じやありませんでしたっけ？」

水着ノツブ「それはオフレコで頼む！……まあ、戦国武将なら誰しもやっておることではあるがの。サルとかタヌキとか」

1-1 パラケルスス 魔術 彼は見事な手品で観客を楽しませた

パラケルスス「折り紙の鳩に何の変哲も無いハンカチを被せるとー」『置換（ボソツ）』ー何と生きた鳩になりました」

鳩「クルツポー！」

セミラミス「貴様！我の鳩に何をしている！」

天草四郎「まあまあ……彼も悪気は無いことですし」

セミラミス「……貴様がそう言うのであれば仕方あるまい。そこな魔術師よ、命拾いしたな。だが次は無いものと思え」

パラケルスス「分かっております。ーマスター、私の手品はいかがでしたか？ご覧

の通りタネも仕掛けもありませんよ」

ぐだ男「凄かったよ！ただ、手品というより魔術という気がするんだけど」

パラケルスス「いえ、間違い無く手品ですよ。魔術ではありません」

ぐだ男（『置換』って聞こえたんだけど……）

パラケルススのマジックショーは毎日夜にカルデア食堂にて好評開催中。今なら虚影の塵風かき氷もついてくる！

※なお、味と安全の保証はいたしませんので何かありましたも自己責任となっており  
ます。当方では念のため聖者の依代の装備もしくは戦闘続行や仕切り直し等のスキル  
発動を推奨しております。

12アンは休日刑部姫 外に出かけるのを嫌う

ぐだ男「おつきー、たまには外出しないと健康に悪いよ？」

刑部姫「心配してくれてありがとう。でも、姫わたしも外を走り回ることあるから大丈夫！」

ぐだ男「見た事無いけどなあ……」

刑部姫「それはそうよ。バーチャルだし。頑張つて周回したお陰でレベルカンスト間近！」

ぐだ男「ゲームのアバターの話かよ！……控えメンバーでも良いから出撃しない？」

刑部姫「戦闘怖いし外に出たくなーい。姫は部屋で満ち足りているよ？引きこもりは蜜の味！」

ぐだ男「オレと買物とかどう？メル友の清姫とか玉藻とか連れて来るよ？」

刑部姫「そのメンバーで買物行ったら修羅場になりそうだからパス。それに欲しい物なら『コンコン』来たわね」

ぐだ男「何が？『アマゾネスドットコムだ。商品を届けに来たぞ』あつ（察し）…つて余計引きこもり化しちゃうじゃん！ネットショッピング禁止した方が良い？」

刑部姫「駄目!!まーちゃんのいけずー」

アマゾネスCEO『不在なのか?…話し声は聞こえるのだが』

刑部姫「在宅ですよ！今開けまーす」

アマゾネスCEO「ではハンコを。フレキシブルな我がアマゾネスドットコムでは仮想QP払いも可能となったが、お支払方法はどうする」

ぐだ男「仮想QP!?!何ソレ、初めて聞いたんだけど!?!」

刑部姫「うーん…:…やっぱいつも通りQP一括で」  
キヤツシュ

アマゾネスCEO「了解だ。では領収書を。ーまたの利用をお待ちしているぞ」

刑部姫「いつもありがとー」

ぐだ男「おつきーが引きこもりでも生活が成り立っている訳がハッキリした…:…」



刑部姫「でしょ？」

ぐだ男「でもサーヴァント同士の親睦を深める為にもたまにで良いからクエストに出て欲しいかな」

刑部姫「まーちゃんがそこまで言うのなら……年1回なら良いよ」

ぐだ男「少な過ぎない!？」

刑部姫「仕方無いなあ……月1」

ぐだ男「ダメ！」

刑部姫「そんなあ……姫の快適引きこもり生活が……」

これまで完全なる引きこもり生活を満喫していた刑部姫だがあまりにも引きこもっていた為、週1のクエスト参加が義務付けられることになった。

13 あーあ、全人類が私にひれ伏せば良いのに

メデアリリイ「いきなりどうしたのですイアソン様。ついにおかしくなっちゃったのですか？」

イアソン「メデアア、それはどういう意味だ!?! 私は王になるべき者として当然のコトを言っただけということが分からないのか？」

ヘクトール（王であれば民衆がひれ伏して当然という訳では無いんですがねエ……）  
イアソン「私は『契約の箱』を手に入れ、それにエウリュアレを捧げて世界の王とな

る！そして今度こそ私の国を、理想の国を創ってみせる！！」

メデイアリリイ（それは叶わない事なのですが………可哀想なイアソン様。『契約の箱』に神霊を捧げたが最後何が起こるかも知らずに。ーせめて、今だけでも今の内だけでも心地良い夢に浸っていて下さい）

メデイアリリイ「申し訳ありません、イアソン様。貴方がどうなるか分かっていても、私は彼の王に従うしかないのです」

イアソン「さつきからブツブツうるさいぞメデイア！」

ーなどというやり取りが第三特異点であつたかは定かで無い。

14 「パワーをメテオに」

ー「良いですとも！」

ぐだ男「パワーをステラに」

マールン「構わないとも！」

▼マールンはアラシユに英雄作成EXを使った

アラシユはバスター性能がアップした！

最大HPがアップした！

クリティカル威力がアップした！

こうかはばつぐんだ!

アーラシユ「そんじや、流星を見せてやるぜ!」

ロビン「ちよつと待て! オタクら人を自爆させようとしてる時に何やってんの!?! そしてアーラシユ、オタクはそれで良いの!?! というか毎回思うけど大丈夫なんですかね!?!」

アーラシユ「心配してくれてありがとな! オレなら全然大丈夫だ。いつもの事だしちやちやつと終わらせてくるさ!」

オジマンディアス「(勇者が尊すぎてツライ……!) ー勇者よ。そなたの働きを労つて、今夜は余と共に余の秘蔵の酒を酌み交わそうぞ。そしてエジプトビールこそ至高と知るが良い!」

意識: いつもお疲れ様。帰ったら二人で飲もう! エジプト<sup>エ</sup>ビール<sup>の</sup>は美味しいぞ!

アーラシユ「フアラオの兄さんもありがとな! 楽しみにしてるぜ。ーさて」

アーラシユ「ー陽のいと聖なる主よ。あらゆる叡智、尊厳、力を与えたもう輝きの主よ。我が心を、我が考えを、我が成しうることをご照覧あれ。

さあ、月と星を創りしものよ。我が行い、我が最期、我が成しうる<sup>スワンター・アールマティ</sup>聖なる献身を見よ。

この一射を放ちし後にー

ー我が強韌の五体、即座に<sup>ス</sup>砕<sup>ス</sup>け<sup>テ</sup>散<sup>ラ</sup>る<sup>ラ</sup>であらう!

ー流星<sup>ス</sup>一条<sup>ラ</sup>!」

ぐだ男「ヤバい……流星<sup>ステラ</sup>一条のフル詠唱聞いたらキヤメロツトのアーラシユ思い出して涙が止まらないんだけど……」

ロビン「あー……鼻紙要ります?」

この後ネタに走ったぐだ男とマーリンはエミヤに正座で5時間説教された。

上の問題本来の解答

1 高熱は風邪の最も一般的な症状の1つである

High temperature is one of the most common symptoms of cold.

2 彼女は何が正しくて何が間違っているかを判断する能力がある

She is capable of judging what is right and what is wrong.

3 彼はそのレストランのコック長になった

He became the chief cook at the restaurant.

4 その山々の向こうに平らな土地が広がっているとされる

They say that a flat land spreads beyond the mountains.

5 彼は祖国を捨てアメリカに渡つた

He abandoned his country and went to America.

6 隣人の騒音がよくオレの睡眠を邪魔する

Noises from the neighbor often disturb my sleep.

7 日本には活火山が沢山ある

There are a lot of active volcanoes in Japan.

8 その町は深刻な水不足に苦しんでいる

The town is suffering from a severe shortage of water.

9 彼の小説のほとんどは悲劇に終わる

Most of his novels end in tragedy.

10 その曲はロックの範疇に属する

The song belongs to the rock category.

11 彼は見事な手品で観客を楽しませた

He entertained the audience with wonderful magic.

12 アンは休日に出かけるのを嫌う

Ann dislikes going out on holidays.

13 あーあ、全人類が私にひれ伏せば良いのに

Oh, if only all mankind groveled at my feet.

14 「パワーをメテオに」

ー「良いですとも！」

Power to Meteor.

—It is good!

## 番外編 もしもマーリンがはっちゃけたら

真名：マーリン

クラス（建前）グランドキヤスター 冠位魔術師

（本音：…というか本人の希望）グランドスリーパー 冠位睡眠術師

地域：理想郷アヴァロン（本来のマーリンとは色々な面でかけ離れているため）

属性：混沌・睡眠

「呪文を使わないのか、だって？」

喋るより（殴って）眠らせる方が早いのに？」

キヤラクター詳細

楽園の放浪者。アーサー王伝説に登場する宮廷魔術師にして助言者、預言者。数多の敵や苦難を乗り越えんとするアーサー王を時に導き、時に悩ませ、時に助けた。ーとーというのが本来の「花の魔術師」「キングメーカー」「グランドロクでなし」と称されるマーリンだったのだが。

今となつては、全力で相手を寝オチさせに行く系魔術師と化している。その名も「眠りの魔術師」マーリン。いつでもどこでも相手を眠らせようとするし本人も寝る。目を



離れたらすぐに寝るので要注意！なお、相手が中々眠らない場合は物理的に眠らせようとしてくる。

アヴァロン

長年理想郷に引きこもっていたせい、いつの間にかこの状態はっになつていた、とは本人の談。1人（と1匹）で引きこもっていたからなのか、体に流れる妖魔の血が変な方向に覚醒したからなのか。彼が変化した理由は謎に包まれている。キャスパリーグが「美しいものを見てきなさい」と追い出されなくてもカルデアにやつて来た時点でそのはっちやけ具合はお察し。女の子よりハッピーエンドより何より睡眠が大好き。

スキル

眠りのカリスマA

「眠りの魔術師」としての活動に目覚めたマーリンが、自身の言葉に説得力を持たせるために単独顕現と同様に自力で獲得したスキル。睡眠の話であれば説得力を持たせることができる。

睡眠術A

眠気を催させる催眠術なんてチャチなものじゃない。対魔力スキルなどの抵抗力が無ければ気付かない内に寝てしまっているレベル。

睡眠作成EX

いつでもどこでも相手を眠りに導くというマーリンの精神性がスキルに昇華された

もの。このスキルがあれば大抵の相手は一目見ただけでその人に最適な睡眠環境を見抜くことができる。

クラススキル

陣地作成（寝床）EX

安眠グッツ作成EX

混血EX

宝具『永久ガイデン・オブ・ヒュブノスアヴァロンに閉ざされた眠りの理想郷』

ランク：EX 種別：固有結界

安眠グッツに限らず、睡眠に必要なものなら何でもそろう、眠りを必要とする者にとつてはまさに理想郷。締め切りが迫った作家などにとつては地獄。

一歩でも踏み入れればその人にとつて最適な睡眠環境が形成される。本来ならランクCの対人宝具のはずが、何故か固有結界に変化した挙げ句ランクがEXに上昇している。

FGOで実装された場合の性能

（本来のマーリンとスキルや宝具が反転している）

スキル

眠りのカリスマ

味方全体のNP減少&攻撃力ダウン

睡眠術

敵全体に無敵状態を付与&クリティカル発生アップ、味方全体のスター発生率ダウン

睡眠作成

味方単体のバスター性能ダウン&最大HP減少&クリティカル威力ダウン

クラススキル

陣地作成（寝床）

アーツ性能をダウン

安眠グッズ作成

自身の弱体耐性をダウン

混血

毎ターンNP減少状態を付与&毎ターン確率で自身に睡眠状態（スタン）を付与

宝具

『ガイデン・オブ・ヒュプノスアヴァロン永久に閉ざされた眠りの理想郷』

味方全体に毎ターンHP減少状態を付与&毎ターンNP減少状態を付与&自身に毎

ターンスター減少状態を付与

一応星5ではあるが、正直最弱の英霊を自称するアンリマユより弱そうな気がする。

ボイスリスト（作成できたもののみ）

召喚「こんにちは、カルデアのマスター君。私はマーリン。自称眠りの魔術師さ！気さくにマーリンさん、もしくは眠りの伝道師と呼んでくれ。堅苦しいのは苦手なんだ」

霊基再臨1「霊基再臨とは、また面白いシステムだ。随分と手間がかかっただろう？その苦勞の分、私が休ませるとしよう」

霊基再臨2「なに、先は長いんだ。気楽に一休みといこう」

霊基再臨3「さて、靈格の強化はここでおしまいだ。ここから先は趣味の世界だが、君は諦めそうにないな。疲れてはいないかい？もしそうであれば、私がシューベルトの子守唄でも歌うとしよう」

霊基再臨4「おめでとう！君がここまで凝り性とは思わなかった。全く嬉しい誤算だとも！グランドスリーパーの名に恥じない活躍を約束……は出来ないけど、努力することを誓わせてもらおうよ、マスター」

「フオーウ『訳：努力する方向間違つてない？』」

バトル開始1「よし戦いだ！苦手だけど全力で眠らせにいこうか！」

バトル開始2「慌てない慌てない。安眠の妨げになるからね」

スキル1「お任せを。夢のように眠らせよう」↑?

スキル2「この辺りの人、眠らせた方が良くないんじゃないか？」

宝具カード1「睡眠の話をするとしよう」

宝具カード2「毛布の話をするとしよう」

EXアタック「(強制的に眠らせるのは)ガラではないんだけどね」

宝具「星の内海。物見の台。楽園の端から君に聞かせよう——君たちの睡眠は祝福に満ちていると。眠りに就きたい者のみ通るがいい——『永久に閉ざされた眠りの理想郷』」

戦闘不能1「退散退散……眠らせるのは任せるよ」

戦闘不能2「ホント、眠らせられなくてゴメン」

勝利「ご苦労様。じゃあ次眠らせにいこう」

好きなこと「好きなもの?睡眠と、ベッドと、枕だよ?だって気持ちいいだろう?眠るの」

本来のマーリンのボイスと比べると面白いかもしれません。